国土交通省

大空の安全を支える航空保安業務
－その大きな使命のために－

航空管制官

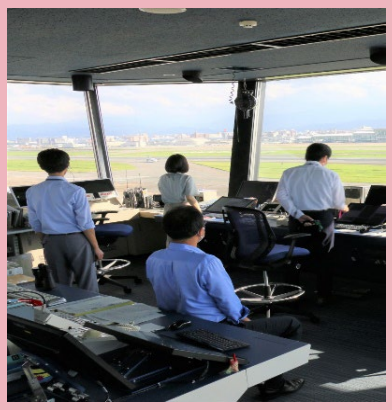
採用試験ガイド（大学卒業程度）

主な仕事の内容

採用後、航空保安大学校で航空管制に関する基礎知識と技能を習得します。

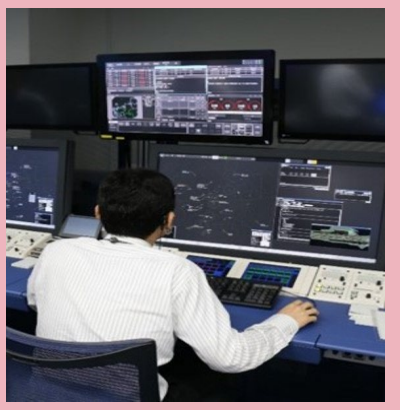
研修修了後、全国各地の空港や航空交通管制部に配属され、現場訓練を経た後、航空管制官の業務に従事します。職場は交替制勤務で、転勤は全国異動となります。

空港の管制官



飛行場管制業務

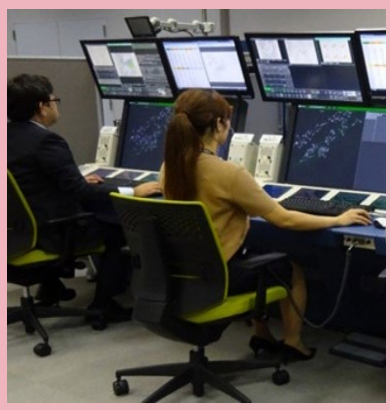
空港にある管制塔から目視で航空機を捉え、離着陸の許可、飛行場面の走行経路の指示等を出します。空港を中心に約9km圏内の空域を担当します。



ターミナル・レーダー管制業務

レーダーで航空機を捉え、離着陸する航空機に針路、高度等を指示し、安全な間隔を保ちながら誘導します。空港から約100km圏内を担当します。

航空交通管制部の管制官



航空路管制業務

レーダーで航空機を捉え、主に巡航中の航空機に指示や許可を与えます。日本の空港を離着陸する航空機のみならず、外国からの通過機にも同様に管制業務を提供します。

先輩からのメッセージ

大空の安全、その裏に

2020年　航空保安大学校　修了

現在の勤務地
広島空港事務所　航空管制官

航空機は、多くの人の協力や連携があって初めて空を飛ぶことができます。航空管制官は主にパイロットと無線を通して連携し、航空機の安全かつ効率的な運航を支えている必要不可欠な存在です。

責任の大きな仕事ですので時にプレッシャーも感じますが、それを上回る楽しさとやりがいがあります。

いつか皆さんと一緒にお仕事できる日を楽しみにしています。

航空機の安全運航を支えます！

2000年　航空保安大学校　修了

現在の勤務地
松山空港事務所　主幹航空管制官

航空管制官の仕事は、個々の技量だけではなくチームワークで成り立っています。パイロットや空港で働く多くの方と連携をとり、航空機の安全運航を支え、効率のよい交通流をつくることにやりがいを感じます。

また、管制業務に必要な資格を取得するための研修体制や、仕事と育児を両立するための制度等が整っており、働きやすい環境です。

みなさんも、航空管制官を目指してみませんか。

航空管制官公式サイトもご覧ください。

航空管制官　公式　検索